

社員が語るNiploの今。

質問、あなたにとって松山とは？、仕事とは？

SCENE-3 営業

答える人

長野営業所 廣世 雅文



仕事に取り組むってことは、
会社に恋をする気持ちを持つことだと思う。

PROFILE

所属：長野営業所
入社年：2002年
出身地：富山県魚津市
出身校：宇都宮大学農学部環境工学科卒

プロを夢見て野球を続けながら、農作業の機械化を研究した大学時代。関東甲信越リーグで活躍したアスリートが次に選んだステージは、農業機械の営業。さてその顛末とは。

会社の歯車よりも、駆動力になりたい。

Q-A …なぜ、松山を選んだのですか？

大学が農学部でしたから、普通にNiplo製品はたくさんあるんですよ。私自身もイチゴ収穫機の開発に取り組んだりしていて、だからまあ身近といえればこれほど身近な会社もなかったかもしれないですね。

就職活動についてもずっとメーカー指向。自分の関心が活かせる機械メーカーをと思っていました。

松山を選んだのは、採用担当の方の一言。一人ひとりを大切にしてくれているんだなという、会社の雰囲気伝わってきました。

Q-B …営業職を目指した理由は？

いや実は、職種で言うと、開発をやりたいと思っていたんです。農作業機械づくりの面白さを知っていたから当然ですよ。ところが、面接で役員の方と話をしているうちに「営業やってみないか」という話になってきて、それに乗ってしまったんです。(笑)

でも冷静に考えてみると、自分は学生時代まで、野球でも勉強でも結構プライドを持ってやってきたところがある。歯車になるより、自分が駆動力になってやる、そういう気持ちや意識が強かったんですね。そういうキャラクターを活かすなら営業職だ、言われてみればその通りだと、そんな結論に達したんです。

Q-C …社員になってから、松山のイメージは変わった？

歴史のある会社なんだと、つくづく思い知らされました。いざ営業として活動してみると、販売店も、農家のお客様も、それこそ何10年もNiploユーザーとして接してきている方々。私の知識なんてあっさり吹っ飛んでしまうんですね。鼻をへし折られたような気分にはつたこともありました。

会社自体にも、新しいことにどんどんチャレンジする柔軟さを持っている一方で、譲れない部分は絶対に譲らないという頑固さも感じるわけです。だからなおさら、言われたままにやっているとはいけなく、自分なりの意思を出していかなければ、という意欲が湧いてきました。

営業は、自己管理や目標の立てかたが大切。

Q-D …いま、あなたの仕事は？

長野営業所に所属しています。ルートセールスとして、担当する地域の販売店にNiplo製品を売り込み、販売支援をしていくのが仕事。展示会や実演会を行ったり、時には農作業の現場に向かい歩いてアフターサービスをすることもありますから、やっている仕事の中身はかなり多彩です。現地でビジネスホテル暮らしになってしまうこともあるので、結構タフですね。

農業というのは自然が相手ですから、文字どおり季節に左右される。当

然私たちの仕事にも繁忙期がありますし、販促上絶対に逃すことのできないタイミングというのもあります。日々の忙しさに追われていると、そのタイミングを逃してしまう。

だから、いつ何をやるのか、そのためにどう準備しておくかをつねに意識して行動することが大切。私自身、そういう時間のとらえ方ができるようになったのは、3年ぐらいたってからでした。営業という仕事は、時間配分がある程度までは自由にできるんです。それだけに、自己管理のしかた、目標の立てかたを身に付けていくのは、大切なことだと思います。

Q-E …松山の自慢できる点は？

個人の意見を尊重してもらえる、個性を發揮できる環境があるということです。少なくとも私には、会社に使われているという感覚はないんです。これは、先輩方が作ってくれた環境でもあり、そういう人間味のある人の集団だということです。

営業という点で言うと、それぞれの営業所ごとに置かれている背景は違いますから一概には言えないのですが、向上心があって学びたいと思っている人にとっては、いい環境だと思います。実際、もっと勉強したいという気になります。

Niploを変えていくのは私たちが。

Q-F …これからどんなことを実現していきたいですか？

ある程度の経験を重ねてきて、今思っているのは、もっとさまざまな情報や知識、そして感性を持つことが必要だということ。そんな気持ちにかられていて、いろいろ勉強も始めています。

Niploというゆるぎないブランドを持つ歴史のある会社を、これからは私たちが支えていく。果たして自分に何ができるか、まだわかりませんが、もっと変えていくんだという強い意識を持ちたいんです。

Q-G …どんな人に来て欲しいですか？

会社の歯車よりも、駆動力になりたいと考える人。自分に向上心があり、つねに学ぶことのできる人。

仕事は、実際に動き出してみないとわからないことが多いのは事実です。でも、松山は、自分なりの「思い」や「ビジョン」が通用する会社です。あなたが、松山という会社に恋することができるか、そういう部分が実は大切なのだと思います。

Q-H …就職活動をしている学生たちに一言

就職を考える時、大切なことの一つが「生活環境」です。どんな環境で、どんな生活がしたいのか。その選択によって、自分の生活の基盤が決まるわけですから、しっかり考えて欲しいと思います。